

年の始まりに思うこと

年々年齢と共に、月日が早く過ぎていくのは誰しもが感じる事だと思いますが、今年も一週間、一ヶ月が矢のように過ぎていきます。私は「これは携帯電話と E-mail のせいだ」と勝手に考えています。「メールに対応するのがやっと」、「一日の仕事がなかなか終わらない」、「今日の日と次の日が繋がってしまう」など、本日もパソコン仕事をしながら、次の日を迎えました。

昨年から地方創成事業に携わってきました。人口減少に何か歯止めをかけたいのです。どんな手立てでも、考えられる限りを尽くしたい。そんな地方の小さな市町の望みがこの事業には託されています。

地方の活性化に関わって、私もひとつ実践している活動があります。新たな理科教材を作り出す事です。現在、小中学校の理科の授業では、脊椎動物の解剖は避けられています。「かわいそう」、「気持ち悪い」だけではなく、動物愛護を理由に反対があるためです。そこで、多くの学校ではイカを使って動物の体を学んでいます。イカは軟体動物でかなり特殊化した体を持っていますが、一般的に馴染みがあり安価なことが良いようです。しかし、同じ海産軟体動物であれば、二枚貝が良いのではないか、もっと面白い教材の方が良いのではないか、と思いアコヤ貝を取り上げました。真珠養殖に用いるあのアコヤ貝です。もちろん真珠入りのもので用います。昨年、何度か実践的に中学校や高等学校で解剖授業を行いました。これがなかなか評判がよいのです。解剖の後は教室中が歓喜とため息に分かれます。歓喜の後にため息をつく生徒たちがほとんどです。良い真珠ができる確率はそれほど低いのです。「だから真珠は貴重なのだ」と強い印象を持ってくれれば、地域特産物の価値がわかります。もちろん軟体動物を通して、動物の体を学ぶ事が第一ですが……。近い将来、会員皆様のお子様やお孫様が理科の授業を終え、真珠ひと粒を持って帰宅する日が来るかも知れません。

NHK の連続テレビ小説では、あさちゃんが明治の時代をのびのびと生きています。2016 年をどのようにのびのび生きるのか、少し早すぎる時のスピードを緩めて、今年こそは考えていきたいと思っています。(アドバイザー 松井 純)